

## 公開講座の開設主旨・目的等

日本人の二人に一人ががんにかかると言われ、今やがんは国民病です。分子生物学の進歩により、がんの発生、増殖、転移の機序が解明され、正常細胞とがん細胞の違いが明らかにされてきました。その違いを標的としていわゆる分子標的薬が開発され、がんの薬物療法が大きく進歩し副作用が軽く大きな治療効果が得られるようになりました。また、内視鏡技術の進歩により、手術せずに、あるいは小さな傷でがんを切除できるようになりました。新しい放射線治療方法が開発され、副作用を抑えて治療効果をあげています。また最新の治療を提供するばかりでなく、がんと診断された早期から緩和医療を行う体制も整備されています。このように、がんの診断や治療は格段に進歩していますが、禁煙などとともに検診を受け、がんの予防や早期発見に国民自らが気をつけることが最も重要です。

今年の公開講座では「がん」をテーマに基礎研究から最新の治療、がん対策までを紹介します。

## 講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	10月4日(土)	10:00~11:00	がん薬物療法最前線	南 博信 (医学研究科腫瘍・血液内科学分野教授)
2		11:10~12:10	がんにならないために、がんになったときのために ～ひょうごのがん対策～	味木 和喜子 (兵庫県健康福祉部参事兼疾病対策課長)
3	10月18日(土)	10:00~11:00	最新の放射線療法	佐々木 良平 (医学部附属病院放射線腫瘍科特命教授)
4		11:10~12:10	胃がん・大腸がんの最新治療	掛地 吉弘 (医学研究科食道胃腸外科学分野教授)
5	11月8日(土)	10:00~11:00	ロボット手術と泌尿器のがん	藤澤 正人 (医学研究科腎泌尿器科学分野教授)
6		11:10~12:10	がん緩和医療 症状緩和とエンドオブライフケア	木澤 義之 (医学研究科先端緩和医療学分野特命教授)
7	11月15日(土)	10:00~11:00	ヒト発がんの分子機構	横崎 宏 (医学研究科 病理学分野 教授)
8		11:10~12:10	分子標的がん治療薬の開発	島 扶美 (医学研究科 分子生物学分野 准教授)
9	11月29日(土)	10:00~11:00	細胞のシグナル伝達研究からがんを診る	的崎 尚 (医学研究科シグナル統合学分野教授)
10		11:10~12:10	消化器がん診断と治療の最前線	東 健 (医学研究科 消化器内科学分野 教授)

## 連絡先

神戸大学医学部総務課研究科総務係

TEL: 078-382-5015

FAX: 078-382-5050